

キャラクター名  
羽黒 詠子

プレイヤー名

シンドローム	バロール エグザイル		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	18	性別	女
覚醒	死	衝動	恐怖	初期侵食率	35	%
出自	双子	経験	危険な仕事	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	10
感覚	2	1	1			4	(非装備時)	10
精神	2	0	0			2	戦闘移動	15
社会	2	0	0			2	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	3		R C	1		交渉		
回避	1		知覚	5		意志	7		調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ポルトアクションライフル		0		8		マイナー消費で射撃達成値+5

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
携帯電話	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: オンリー・ユー	P 幸福感	N 恐怖		
Sロイス: 羽黒 橙子 [双子]	P 純愛	N 恐怖		
藤山 修一 [恩人]	P 尽力	N 悔悟		
学園生活	P 憧憬	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12    残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
時の棺	1	10	At			自動	100↑	
効果: 判定の直前に使用、自動失敗化								
コンセントレイト:エグザイル	2	2	Mj			自動	-	
効果: C値-2(下限7)								
ヒュドラの怒り	4	4	St				100↑	
効果: 攻撃力+[Lv*3],ダイス+3,暴走								
巨人の斧	4	3	Mj				-	
効果: 攻撃力+[Lv*3],ダイス-2								
異世界の因子	1	5	At				80↑	
効果: 他人の使ったエフェクトコピー								
オールレンジ	2	2	Mj				-	
効果: ダイス+[Lv]								
異形の祭典	2	4	Mj				-	
効果: 対象[Lv+1]体,シーン1回								
デビルストリング	1	5	At				-	
効果: タイミング:Atエフェクト無効,シナLv回								
ディメンションゲート	★							
効果: 特売にも間に合います								
物質変化	★					※知覚		
効果: 完全に擬態出来ます								
ポケットディメンジョン	★					※知覚		
効果: 四次元ポケットです								
異形の歩み	★					※[肉体]		
効果: どこでも歩けます								
鍵いらずの歩み	★					※知覚		
効果: どんな所だって入れます								

■主な設定

ついでの間でFHのエージェントであり、任務に失敗し瀕死の状態であった所をUGNに保護された少女現在はUGNイリーガルとして不定期に活動しながら女子高生として生活している主にエグザイルの形状変化の能力や、バロールの空間を渡る能力を用いた偵察任務等を担当することが多いと言うのも、彼女の能力は戦闘向けではあるもののいざ全開で戦闘をするとなれば制御が酷く不安定で、暴走する事が多いためFHに居た頃に様々な実験を受け、外部からレネゲイドの操作を行われて居た事が多いため自らの制御が覚束無いのではという見方もあるその様な状態であるにも拘わらずUGNに無理を言って仕事を手伝う理由としては勿論自分の様な存在をこれ以上出たくは無い、と言った意味もあるのだろうが、とあるUGNイリーガルへの憧憬もあるらしい

良く言えばおらしい、悪く言えば自主性の無いオドオドした態度を取るその様はまるでこの歳であるのに人と接する事に不慣れであるかのようだ又、幼い頃からつい最近までFHの駒としての生活を送っていたため世間知らずでもある

同じくオーヴァードである双子の姉がおり、家事の出来ない彼女の世話を焼くのが彼女の専らの趣味とは言っても彼女自体FHに居た期間まともな生活を送っておらず、家事は勉強しながらの様だ心配をかけたくないのか、UGNの仕事を手伝う際に彼女には「ちょっと不定期のバイトをやってるの」と言い訳をしているらしいが隠し通せているかどうかは不明

公には羽黒 詠子という人物は故人となっているためFHから抜けた後も両親の元へは帰れず、事情を知る姉と二人暮らしをしている今では彼女と両親を繋ぐ唯一の接点は、記念日に姉経由で渡して貰うプレゼントのみになってしまった